

富谷市ESD／ユネスコスクール実施計画

ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

1 富谷市のESDの目的

- 多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り開く、持続可能な社会の創り手を育む。

<教育活動の理念>

Think globally, Act locally (地球規模で考え、身近なことから行動せよ)、 Think future, Act now (未来に向けて、今から行動せよ) という ESD の考えに沿って実践し、グローバルな視点を育み、持続可能なふるさと富谷について考え、10年後、20年後のよりよい自己の確立と社会の形成者となる素地を育む。

2 ユネスコスクールの活動目的

- ユネスコスクール・ネットワークの活用による世界中の園・学校との園児、児童・生徒間、教師間の交流を通じ、情報や体験を分かち合う。
- 地球規模の諸問題に園児、児童・生徒が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指す。

3 ユネスコスクールの効果

- 国内外のユネスコスクールと交流する機会の増加
- 海外との教員交流
- ESD のための教材、情報の提供
- ユネスコスクール HP を通じた情報交換
- ユネスコスクール全国大会はじめ、ワークショップ、研修会への参加

4 ESDの実施

(1) 富谷市ESD／ユネスコスクール推進委員会

- 各幼・小・中学校、富谷高等学校、市教育委員会等の担当者と組織し、富谷市のESDを推進する。
- ESDを推進するために研究、研修、情報交換、実践発表を行う。
※ ESD実践事例集参照 (富谷市ESD／ユネスコスクール推進委員会 発行)

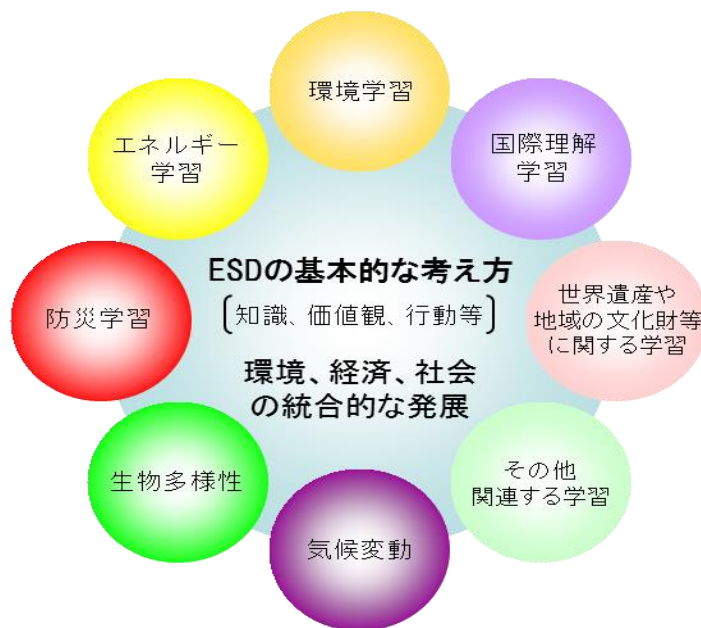
(2) 各学校の取組

- ESD推進に関する具体的な活動は、基本的に各園・学校の特色や地域性に合わせて推進する。
- 持続可能な開発目標 (SDGs) に積極的に取り組む。※SDGsは文科省HP参照
- 中学校区連携や幼・小・中・高の連携、宮城教育大学、宮城県ユネスコ連絡協議会、国内外のユネスコスクール等との連携も視野に入れた活動にも取り組む。

(3) その他

- ユネスコスクール公式ウェブサイト (活動紹介や教材ルーム等) を活用し、活動を発信する。

○ ESDの概念図：関連する様々な分野を“持続可能な社会の構築”の観点からつなげ、総合的に取り組むことが必要。



○ 「SDGs (エスディージーズ)」：「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットで決められた国際社会共通の目標。ESDは目標4に位置づけられており、ESDの推進がSDGsの達成に直接・間接に繋がっている。 ※ ESD実践事例集参照



5 関係機関・サイト

■宮城教育大学 研究・連携推進課 022-214-3856

■東北地方ESD活動支援センター022-393-9615

■仙台ユネスコ協会 022-224-2581

■文部科学省HP

①パンフレット「ユネスコスクールで目指すSDGs-持続可能な開発のための教育(ESD)」

②リーフレット「持続可能な開発のための教育(ESD)とユネスコスクール」